☆☆　新型コロナウイルス感染症ニュース　第 94 号　2021.11.22　☆☆

新型コロナウイルス感染者数は依然として低い水準を保っておりますが、国内の一部地域では患者数が増加しているところもあります。本格的な冬を迎え、より一層の感染対策と感染者増加時への準備が必要です。今回は今後のワクチン接種について見通しも含めてご報告いたします。

追加接種（3 回目接種）につきまして

仙台市医師会　会長　安藤健二郎

11 月 17 日に国から自治体向けに追加接種に関する説明会があり、これを受け 19 日に市ワクチン接種推進室と仙医で話し合いを持ちました。

追加接種に用いられるのは m-RNA ワクチンであるファイザー社製かモデルナ社製が適当とされているが、現時点で追加接種に係る薬事承認がとれているのはファイザーのみ、したがって、まずはファイザーを使うことになる。モデルナは現在薬事承認申請中である。ファイザーとモデルナを合わせれば接種対象者の追加接種を十分に賄える量が確保される。(すなわち、ファイザーだけですべてをカバーできない)

また、5 歳以上 11 歳以下の小児のワクチン接種も検討されており、小児用ファイザー社ワクチンは従来のファイザーワクチンとさまざまな違いがあり、取扱いに神経を遣うことになりそうです。

以上、これから始まる３回目接種と小児初回接種を合わせるとかなり複雑なスキームとなることが予想され十分な対策が求められます。間違い接種を未然に防ぐ最良の策を追求してまいります。

市民にとって一番わかりやすいのは１，２回目の接種を受けた会場で３回目を同じワクチンで受けるということと思います。１，２回目にご参加いただいたすべての接種医療機関に３回目接種をご担当いただけますよう何卒よろしくお願いいたします。

仙医では追加接種に関する講演会や説明会を近く開催する予定です。会員の先生方におかれましてはなるべくご参加いただき、正しい知識と情報を得ていただくようお願い申し上げます。

ワクチン追加接種（3 回目接種）について

国の方針に基づき、仙台市でも 12 月より新型コロナウイルスワクチンの追加接種（３回目接種）を行うことが本日発表されました。国の方針では、接種対象は 2 回目接種完了から**原則 8 か月を経過した 18 歳以上の希望者**とされております。

【１．接種対象と日程、接種券の送付】

12 月の**追加接種対象者**は、仙台市に住民登録がある状態で**令和 3 年 4 月末までに２回目の接種**を受けられ、11 月 11 日まで継続して仙台市に住民登録がある方、主に先行接種の医療従事者で約 12,000 人となります。接種券は**11 月 26 日（金）に発送**される予定です。他の自治体で令和３年４月末までに２回目の接種をした後に仙台市に**転入された方は、市に対して接種券発行の申請が必要**です。

その後のスケジュールについては現在調整中ですが、基本的には接種対象月の前月下旬には接種券が送られる予定となっております。

医療従事者の接種について、1・2 回目接種の際には、接種券付き予診票を用いましたが、追加接種の接種券については、医療従事者についても 1・2 回目のように医療機関で V-SYS を使った接種券付き予診票の印刷は不要で、すべて**住民登録がある自治体より個人あてに送付**されることとなります。

【２．接種体制、接種会場】

12 月の接種対象は主に先行接種の医療従事者で、接種会場は**1・2 回目同様の先行接種医療機関**にご協力をいただいて行います。２回目接種後に退職した方などで、以前の医療機関での追加接種が困難な方等については、12 月 18・19 日に仙台市の集団接種の TKP 会場（青葉区花京院 1-2-15）で行うこととし、12 月 11 日よりコールセンターで電話受付を開始いたします。

1 月以降の接種体制はワクチンの供給見通し等を踏まえ、個別・集団など 1・2 回目接種時同様の体制を基本とするよう調整中です。ご協力可否やワクチン必要数については改めてアンケートを送らせていただ

きますが、これまで同様にご協力いただけますよう、お願いいたします。
※大規模接種会場の活用については、宮城県や東北大学等と協議が進められております。

【３．使用ワクチンについて】

現時点で追加接種に関して薬事承認されているのはファイザー社製ワクチンのみであることから、当面、ファイザー社製ワクチンが使用されます。しかし今後は武田/モデルナ社製ワクチンも使用される見込みであり、1・2 回目と 3 回目のワクチンが異なるいわゆる交互接種についても今後通知がなされる見込みです。

小児（5～11 歳）のワクチン接種について

5 歳以上 11 歳以下の小児に対する新型コロナワクチン接種の準備がされておりますが、詳細はまだ発表されておりません。仙台市の同年代対象者は 6 万人程度が見込まれ、接種方法は個別接種が想定されております。使用されるワクチンはファイザー社製ですが、これまで使用されたものとは濃度・用量の異なる「小児用ワクチン」となります。次項で現在使用できるワクチンを整理いたしましたが、特に小児の接種については、これまでの 12 歳以上の接種とは全く別のプロジェクトと考えていただく必要があります。

ワクチンの種類について

このたび、これまでの 1・2 回目の接種に加え、**追加（3 回目）接種、小児接種**が見込まれ、使用するワクチンの種類も増えることになります。**使用方法、保管方法、有効期限**などこれまで以上に注意が必要になります。国の指針で 1 つの接種会場（医療機関）で複数のワクチンを使用するには、以下の 1)～3) の条件を満たすことが必要です。

1) ワクチンごとに**接種日時や場所を分ける**。
2) **容器・管理を明確に分ける**。
3) **接種関連器具・物品を区分**し**責任者・担当者**を置く。

１．（大人用）ファイザー社ワクチン

これまで個別接種で使われたワクチンで、1・2 回目と 3 回目接種は同様の使用方法です。ワクチンの**有効期間は最大で 9 か月**（当初の 6 か月から延長）です。保存期限は－90～－60℃のディープフリーザーを出してから**―25～－15℃の冷凍で 14 日間、2～8℃の冷蔵で 1 カ月間（31 日間）**となります。

２．武田／モデルナ社ワクチン

これまで主に大規模接種・職域接種で使用されていました。1・2 回目は 0.5ml の投与でしたが、**3 回目では 1 回 0.25ml** の投与で、**1V が 15 回分**となります。追加接種では 2～8℃での**小分け移送も可**となり、**個別接種での使用も可能**となります。

３．アストラゼネカ社ワクチン

海外で 1 回目にアストラゼネカ社製ワクチンを接種された後に帰国されたケースなどで限定使用されております。

４．小児用ファイザー社ワクチン

１．の大人用のものとは濃度、用量が異なります。**5～11 歳の小児には必ず小児用ワクチンを使用**します。**ワクチンの有効期間は最大で 6 か月**です。移送は-90～-60℃、または 2～8℃で可能で、保管期限は、**2～8℃で 10 週間**です。**1 回接種量は 0.2ml** で、**専用シリンジ**を用いて**1V が 10 回分**となります。

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種の現状

11 月 17 日 9 時時点で、「ワクチン接種記録システム（VRS）」に登録された数値による、仙台市の年代別のワクチン接種状況です。右側の接種対象者数は、本年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による年齢別人口から記載しております。

年代	接種回数（回）		接種率		接種対象者数（人）
	１回目	２回目	１回目	２回目	
10代	57,616	52,725	76.8%	70.3%	75,052
12～14歳	18,877	16,257	69.4%	59.8%	27,190
15～19歳	38,739	36,468	80.9%	76.2%	47,862
20代	95,481	92,374	78.0%	75.5%	122,362
30代	109,046	105,643	78.9%	76.4%	138,222
40代	139,105	135,904	83.7%	81.8%	166,211
50代	127,061	125,035	90.3%	88.8%	140,771
60代	113,018	112,345	91.0%	90.4%	124,244
70代以上	187,489	186,508	96.1%	95.6%	195,116
全体	828,816	810,534	86.2%	84.3%	961,978
うち高齢者	245,370	244,167	94.8%	94.3%	258,831

全体の接種率は、1 回目が 86.2%に、2 回目が 84.3%になり、すべての年代で２回目の接種率が 70%を超えました。　（CVPT、福壽　岳雄）

薬局における新型コロナウイルス感染症の経口治療薬の配分に係る医薬品提供体制の整備について（R3.11.17）

厚生労働省からの周知依頼です。 今後、新型コロナウイルス感染症の経口治療薬が国内で実用化され 、供給量が限られる場合、安定的な供給が可能になるまでの間は**一般流通を行わず、厚生労働省が所有した上で、医療機関の処方に基づき必要な患者に届くよう配分する**ことが想定されます。

特に自宅療養者等に対して必要な治療薬を滞りなく提供できるよう、地域の医師会、薬剤師会及び医薬品卸売業者等の関係者と連携の上、地域において対応する薬局をあらかじめリスト化して経口治療薬を配備する体制を整備することが求められています。

ニュース部、ワクチン担当チームより　（94 号担当　福壽岳雄）

いよいよ新型コロナウイルスワクチンの追加接種が開始されます。ワクチンの取り違えなどにも十分な注意が必要です。

まだまだ詳細が未定なところもありますが、以上のような条件の中でできるだけ混乱せずスムーズな事業推進が求められ、仙台市医師会では仙台市と十分に協議し、新型コロナウイルスワクチンの追加接種はできるだけ２回目までの接種と同じ条件で３回目接種を行えるよう調整をしています。現在、集団接種会場の確保、職域接種についての調整、ワクチンの確保と移送の準備、接種券の発送準備が進められていますので会員の皆様にはこれまで同様に**個別接種、集団接種へのご協力**をお願いしたいと思います。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp